

2024年度 第3四半期決算報告



2025年1月31日
日本ゼオン株式会社

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.7	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.12	高機能材料	P/L
P.13	高機能材料	営業利益差異
P.15	高機能ケミカル事業	：電池材料の状況
P.16	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.19	エラストマー素材	P/L
P.20	エラストマー素材	営業利益差異
P.22	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.26	営業外損益、特別損益	
P.28	2024年度 業績予想	
P.30	2024年度 株主還元予想	

※2024年度より、光学樹脂を
シクロオレフィンポリマー(以降、COP)
と記載します。

2024年度Q3連結実績

売上高
1,021億円
QoQ▲5%

営業利益
74億円
QoQ▲5%

経常利益
88億円
QoQ+38%

親会社株主に帰属
する当期純利益
78億円
QoQ+91%

増減の主要因

売上高：COP、光学フィルムの出荷量減、合成ゴムの国内主要工場の定期検査による出荷調整等

営業利益：COP、光学フィルムの出荷量減、合成ゴムは原料価格高騰分の価格改定が進捗し営業利益は落ちず

経常利益：受取配当金、円安による為替差益等

当期純利益：投資有価証券売却益

2024年度Q3累計連結実績

売上高
3,154億円
YoY+11%

営業利益
242億円
YoY+51%

経常利益
274億円
YoY+37%

親会社株主に帰属
する当期純利益
201億円
YoY▲4%

増減の主要因

売上高：COP、光学フィルムの出荷量増、合成ゴムの原料価格高騰分の価格改定が進捗等

営業利益：同上、さらに光学フィルムの手留まり良化

経常利益：同上、ただし為替差益は減少

当期純利益：投資有価証券について前年度に大型の売却を実施

2024年度通期連結業績予想

売上高
4,170億円
+0.5%

営業利益
265億円
+13%

経常利益
300億円
+22%

親会社株主に帰属
する当期純利益
235億円
+24%

修正要因

売上高：光学フィルムの出荷量増、為替前提の見直し（下期予想前提US\$145円⇒Q3US\$149.1円、Q4US\$150円）等

営業利益：同上

経常利益：同上、さらに下期予想前提見直しによる為替差益

当期純利益：同上

2024年度株主還元

DOE
4%以上

自己株式の取得
200億円

配当方針を「自己資本配当率（DOE）4 %以上」とする

配当額は年間70円を予想

自己株式取得を2,000万株/200億円を上限に実施

① 高性能樹脂（COP・光学フィルム）

- 2024年10月より停止していた水島工場の1生産系列は、2024年12月前半に通常生産に戻りました。
- 水島早期復旧のため、高岡リサイクルプラントから共通部品の一部を転用しました。2025年度は高岡で定期検査を行う計画であるため、本生産開始に必要な試作のスケジュール調整が必要となり、高岡リサイクルプラント運転開始は定期検査後の2025年9月となる見込です。

連結業績への影響額

10/28時点
下期予想

営業利益
約 ▲19億円

24年度
Q3実績

営業利益
約 ▲12億円

24年度
Q4予想

営業利益
約 ▲4億円

25年度
予想

営業利益
約 ▲3億円

② 電池材料

- 当社の子会社であるZeon Chemicals L.P.のテキサス工場（米国テキサス州）へのリチウムイオン電池用バインダー生産設備の投資計画について、2年程度凍結することを決定しました。
- 昨今の事業環境の変化や市場動向を鑑み、当社が持続可能な成長を目指すための戦略的判断です。他方で、電池材料事業は当社の中期経営計画において磨き上げ事業と位置づけており、注力していく方針に変わりはありません。今後も市場動向を注視し、最適な投資判断を行っていきます。

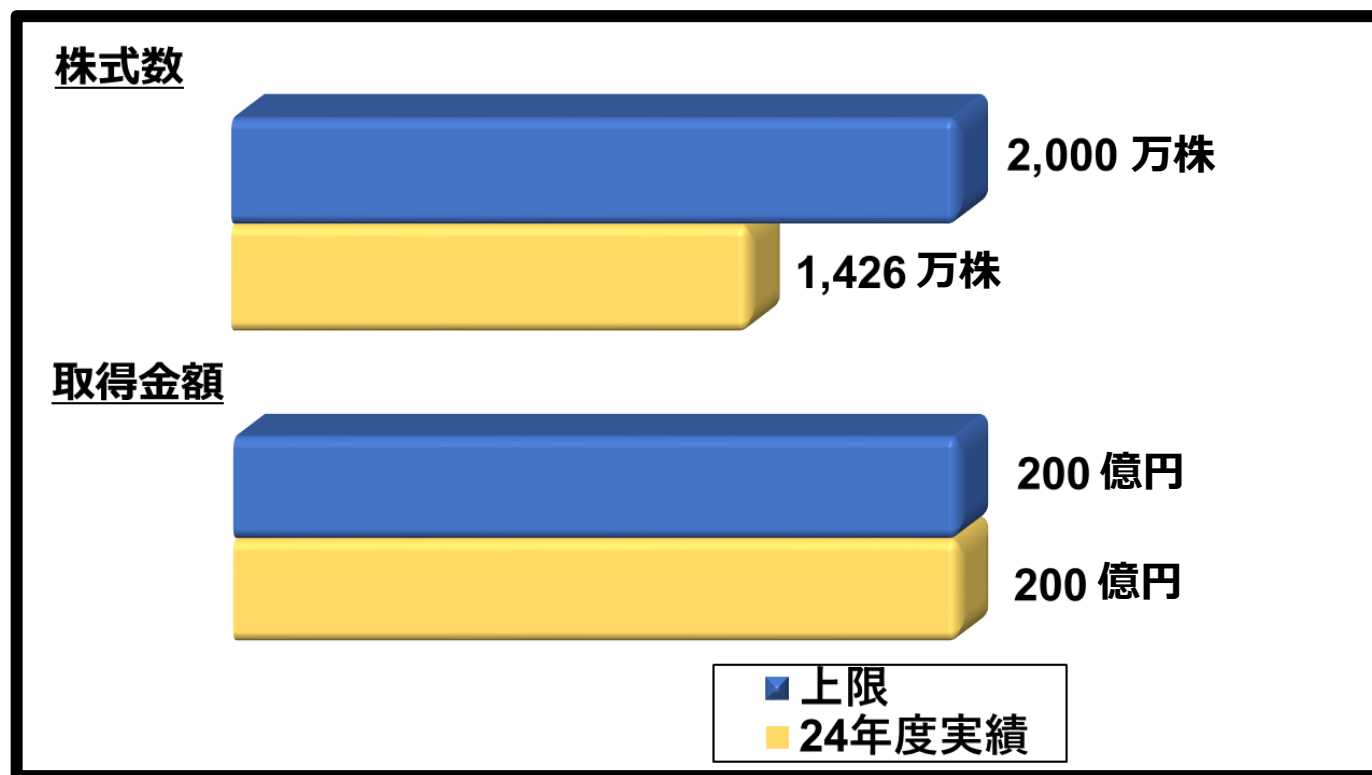
③ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- 第2四半期決算発表時に情報開示拡充と株主還元の強化を行い、株価は上昇したもののPBR1倍超の達成には至りませんでした。
- 当社は投資家との対話を通じて、投資家の皆様の期待がEVAスプレッドの改善にあることは強く認識しており、検討を進めております。精査の結果は、2025年6月発表予定の中期経営計画第3フェーズにて公表いたします。

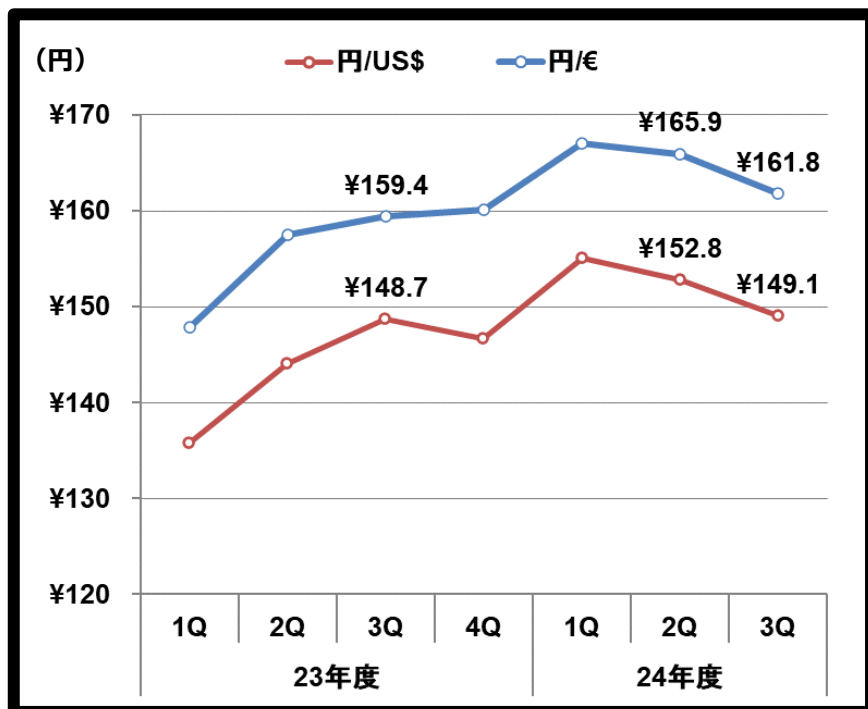
④ 自己株式取得および消却

- 2,000万株/200億円を上限に自己株式の取得を実施し、2025年1月20日約定分で終了しました。
- 当社株式需給への短期的な影響を緩和し、既存株主への影響を軽減するため、株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により1,008万株（144億円）の自己株式の取得を実施しています。
- 取得後の全株式について消却を決定済です。

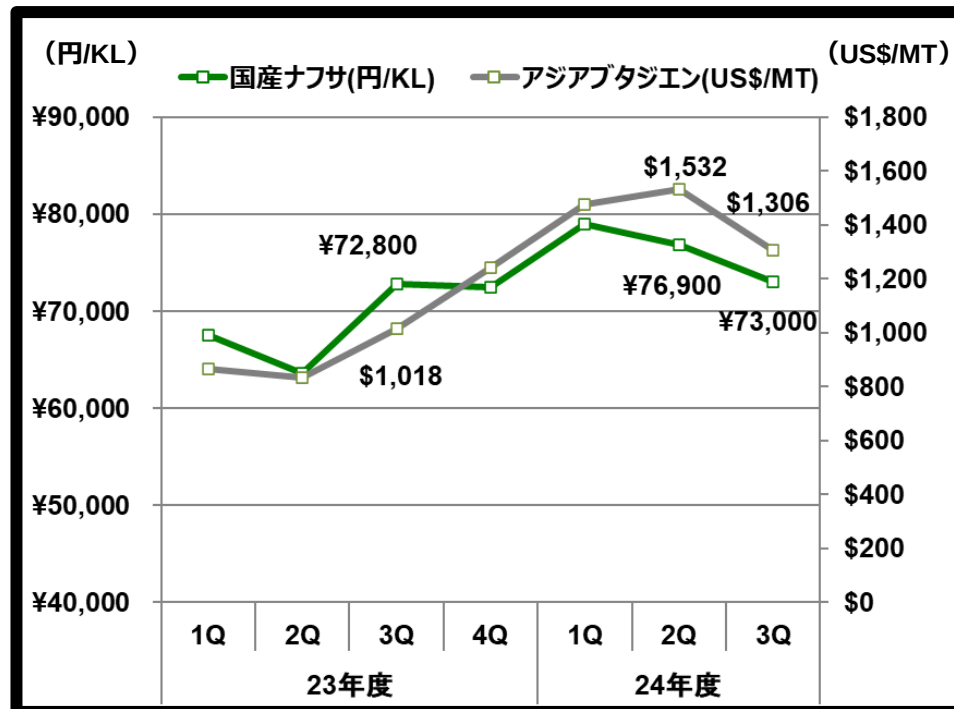
【2025年1月20日時点取得状況（約定ベース）】



【為替推移】



【主原料推移】



		2023年度 Q3	2024年度 Q2	2024年度 Q3	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥148.7	¥152.8	¥149.1	-	▲ 2%
	円/€	¥159.4	¥165.9	¥161.8	+2%	▲ 2%
主原料	国産ナフサ/KL	¥72,800	¥76,900	¥73,000	-	▲ 5%
	アジアブタジエン/MT	\$1,018	\$1,532	\$1,306	+28%	▲ 15%

※国産ナフサ：2023年度Q3及び2024年度Q2は確報値、2024年度Q3は当社見込値

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.9	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.13	高機能材料 営業利益差異
P.15	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.16	高機能樹脂事業：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.19	エラストマー素材 P/L
P.20	エラストマー素材 営業利益差異
P.22	エラストマー素材：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要
P.25	C/F概要
P.26	営業外損益、特別損益
P.28	2024年度 業績予想
P.30	2024年度 株主還元予想

（単位：億円）

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2023年度	2024年度	対前年
	2023年度 Q3	2024年度 Q2	2024年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減	Q3累計	Q3累計	同期比
売上高	984	1,072	1,021	+37	▲52	2,838	3,154	+316
営業利益	65	78	74	+8	▲4	160	242	+82
経常利益	69	64	88	+19	+24	199	274	+75
当期純利益	105	41	78	▲27	+37	209	201	▲8

- 前年同期比 : 売上高 +37億円、営業利益 +8億円
- 前期比 : 売上高 ▲52億円、営業利益 ▲4億円
- 通期対前年度比 : 売上高 +316億円、営業利益 +82億円

注記：海外関係会社の2024年7～9月実績がQ3連結決算に反映されています。

2024年度Q3 業績サマリー（セグメント別）

ZEON

（単位：億円）

【売上高】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2023年度	2024年度	対前年同期
	2023年度 Q3	2024年度 Q2	2024年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減	Q3累計	Q3累計	YoY累計 増減
高機能材料	277	312	286	+9	▲ 27	791	901	+111
エラストマー素材	550	604	578	+29	▲ 26	1,597	1,785	+188
その他の事業、消去等	157	156	157	-	+1	451	469	+18
売上高合計	984	1,072	1,021	+37	▲ 52	2,838	3,154	+316

【営業利益】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2023年度	2024年度	対前年 同期比
	2023年度 Q3	2024年度 Q2	2024年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減	Q3累計	Q3累計	
高機能材料	36	55	37	+1	▲ 18	102	145	+43
エラストマー素材	25	22	29	+4	+7	62	90	+28
その他の事業、消去等	4	▲ 0	7	+3	+7	▲ 4	7	+11
営業利益合計	65	78	74	+8	▲ 4	160	242	+82

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.9	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.13	高機能材料 営業利益差異
P.15	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.16	高機能樹脂事業：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.19	エラストマー素材 P/L
P.20	エラストマー素材 営業利益差異
P.22	エラストマー素材：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要
P.25	C/F概要
P.26	営業外損益、特別損益
P.28	2024年度 業績予想
P.30	2024年度 株主還元予想

(単位：億円)	2023年度 Q3	2024年度 Q2	2024年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	277	312	286	9	3 %	▲ 27	▲ 9 %
※ 高機能樹脂	165	207	187	23	14 %	▲ 19	▲ 9 %
高機能ケミカル	102	96	89	▲ 13	▲ 13 %	▲ 8	▲ 8 %
メディカル他	10	10	10	▲ 1	▲ 8 %	▲ 0	▲ 1 %
営業利益	36	55	37	1	2 %	▲ 18	▲ 33 %
営業利益率	13%	18%	13%				

※ 高機能樹脂 : COP、光学フィルム
 ※ 高機能ケミカル : 電池材料、化学品、電子材料、トナー

■ 高機能樹脂：光学用途向けCOPおよび大型フィルムの需要堅調により、YoYは増収増益、医療その他向けCOPおよび中小型フィルムの出荷減、ならびに水島工場の1生産系列の不具合による稼働停止期間中の固定費、設備復旧費用等の影響により、QoQは減収減益（水島工場は復旧済）

■ 高機能ケミカル：化学品合成香料の需給緩和および徳山工場定期検査によるトナーの出荷調整により、YoY、QoQともに減収
 化学品特殊溶剤および電池材料の出荷堅調によりQoQは増益

(単位：億円)

▲：医療その他向けCOP/中小型フィルム 出荷量減
+：電池材料 出荷量増

▲：光学フィルム/COP
水島工場の1生産系列不具合により費用増

+：海上運賃高騰の一服
新規開発費用減 等

24/Q2
55億円



24/Q3
37億円

(単位：億円)

+ : 光学用途向け・半導体向けCOP/光学フィルム
出荷量増

▲ : 合成香料/電池材料
市況価格に応じた価格調整

▲ : 海上運賃高騰
新規開発費用増 等

+ : 光学フィルムプラント稼働向上
により歩留まり良化
▲ : 光学フィルム/COP
水島工場の1生産系列不具合に
より費用増

23Q3累計
102億円

+43

24Q3累計
145億円

数量差

価格差

為替差

原価差

販管費差

	YoY	QoQ	YoY累計
EV向け	63%	122%	68%
民生他向け	223%	100%	183%
全体	80%	115%	85%

■ EV向け

欧州のEV販売台数伸び悩みにより、YoYは出荷量減となるも、中国の補助金政策が追い風となり、QoQは出荷量増

■ 民生他向け

モバイル端末向けおよびESS用途向けが引き続き堅調に推移し、YoYは出荷量増、QoQも出荷量を維持

	YoY	QoQ	YoY累計
光学用途向け	141%	102%	144%
医療その他向け	47%	45%	89%
全体	67%	60%	102%

■ 光学用途向け

スマホ向け、レンズユニット向けともに堅調な需要が継続し、YoY、QoQともに出荷量増

■ 医療その他向け

半導体容器向けはYoYで257%の出荷量増となるも、それ以外の用途で一部顧客の在庫調整等の影響を受け、YoY・QoQともに出荷量減
当社予想通りの動きであり、4Qは回復を見込む

	YoY	QoQ	YoY累計
中小型向け	98%	86%	114%
大型向け	115%	101%	120%
全体	112%	99%	119%

■ 中小型向け

タブレット向けは堅調となるも、スマホ向けは出荷端境期となり、YoY、QoQともに出荷量減

■ 大型向け

23年9月稼働新ライン分の生産能力増強によりYoYは出荷量増、中国補助金政策により大型TV向け需要が持続し、QoQも堅調を維持

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.9	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.13	高機能材料 営業利益差異
P.15	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.16	高機能樹脂事業：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.19	エラストマー素材 P/L
P.20	エラストマー素材 営業利益差異
P.22	エラストマー素材：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要
P.25	C/F概要
P.26	営業外損益、特別損益
P.28	2024年度 業績予想
P.30	2024年度 株主還元予想

(単位：億円)

	2023年度 Q3	2024年度 Q2	2024年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (23/Q3=100)	100	106	95	▲ 5 pt	▲ 5 %	▲ 11 pt	▲ 10 %
合成ゴム	100	95	88	▲ 12 pt	▲ 12 %	▲ 8 pt	▲ 8 %
ラテックス	100	151	121	21 pt	21 %	▲ 30 pt	▲ 20 %
化成品	100	114	104	4 pt	4 %	▲ 10 pt	▲ 9 %
売上高	550	604	578	29	5 %	▲ 26	▲ 4 %
合成ゴム	420	451	436	16	4 %	▲ 15	▲ 3 %
ラテックス	27	41	35	8	30 %	▲ 6	▲ 16 %
化成品	90	99	96	6	7 %	▲ 3	▲ 3 %
その他・消去	13	12	11	▲ 2	▲ 16 %	▲ 1	▲ 11 %
営業利益	25	22	29	4	17 %	7	31 %
営業利益率	5%	4%	5%				

- 原料価格高騰分の価格改定が進捗し、YoYは増収増益、QoQは増益
- 徳山工場および高岡工場定期検査のため出荷調整を行い、合成ゴム、ラテックスを中心にQoQは減収

注記：ZSエラストマー(株)について2024年9月30日に合併解消、2024年10月1日に日本ゼオン(株)に吸収合併したことによる連結業績への影響は微減

エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (QoQ) ZEON

(単位：億円)

+ : 合成ゴム/化成品 販売価格改定

▲ : 合成ゴム 出荷量減

+ : 海上運賃高騰の一服 等

▲5

+16

▲6

▲1

+3

24/Q2
22億円

+7

24/Q3
29億円

数量差

価格差

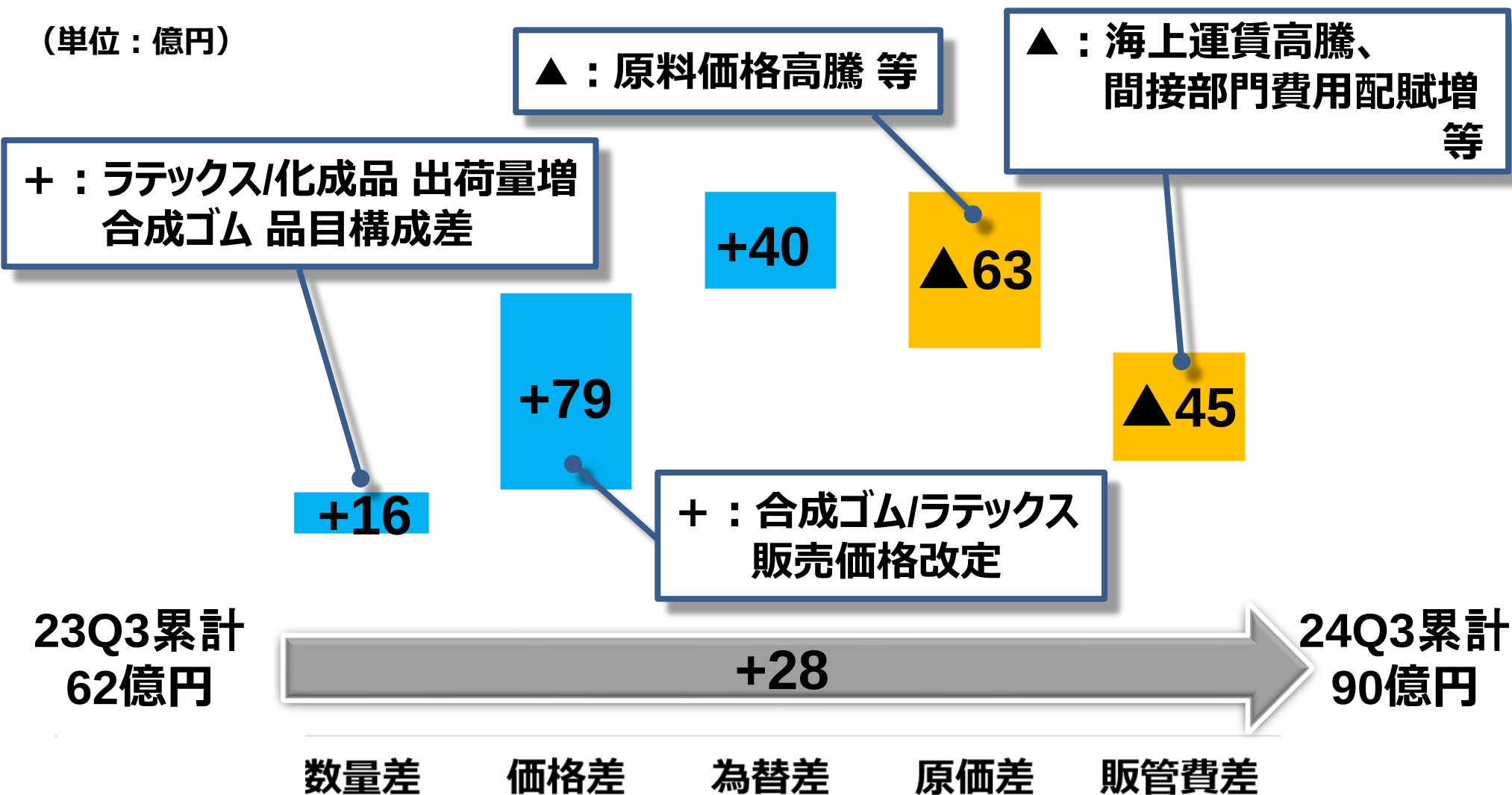
為替差

原価差

販管費差

エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異（YoY） ZEON

（単位：億円）



エラストマー素材：合成ゴムの状況（製造拠点出荷量） ZEON

	YoY	QoQ	YoY累計
特殊ゴム	89%	94%	93%
汎用ゴム	87%	92%	98%
全体	88%	92%	97%

■ 特殊ゴム

徳山工場および高岡工場定期検査のため出荷調整を行い、YoY、QoQともに出荷量は減少

■ 汎用ゴム

徳山工場定期検査のため出荷調整を行い、YoY、QoQともに出荷量は減少

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.9	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.13	高機能材料 営業利益差異
P.15	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.16	高機能樹脂事業：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.19	エラストマー素材 P/L
P.20	エラストマー素材 営業利益差異
P.22	エラストマー素材：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要
P.25	C/F概要
P.26	営業外損益、特別損益
P.28	2024年度 業績予想
P.30	2024年度 株主還元予想

総資産5,386億円 (+63)

【流動資産】 +82億円

- ◆ 現預金 ▲122億円
- ◆ 売掛債権 +50億円
- ◆ 未収入金 ▲9億円
- ◆ 棚卸資産 +98億円

流動資産
3,092
(+82)

固定資産
2,294
(▲19)

【固定資産】 ▲19億円

- ◆ 有形固定資産 +63億円
- ◆ 投資有価証券 ▲98億円

【流動負債】 +236億円

- ◆ 買入債務 ▲50億円
- ◆ コマーシャルペーパー +280億円

流動負債
1,672
(+236)

固定負債 224 (▲25)

純資産
3,490
(▲147)

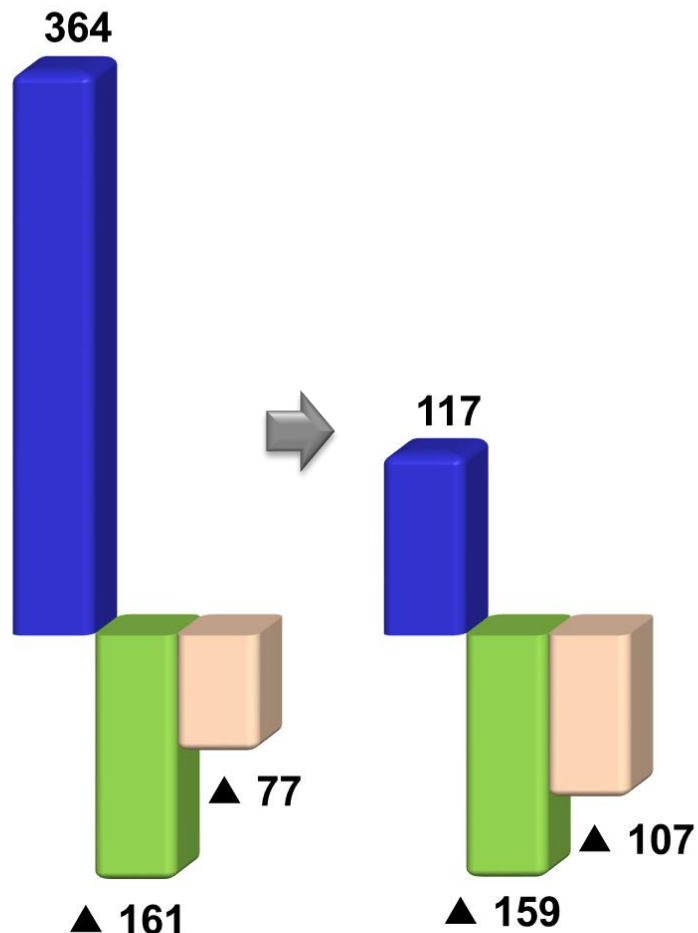
【純資産】 ▲147億円

- ◆ 自己資本比率 64.7% (▲3.4)
- ◆ D/Eレシオ 0.11 (+0.08)

(単位：億円)

2023年度Q3

2024年度Q3



■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)

	2023年度Q3	2024年度Q3
営業CF	364	117
投資CF	▲ 161	▲ 159
フリーCF	204	▲ 42
財務CF	▲ 77	▲ 107
CF	126	▲ 149

【営業CF】 ▲ 247億円

- ◆ 税前利益 ▲ 16億円
- ◆ 評価処分損 +28億円
- ◆ 運転資金 ▲ 239億円
- ◆ 税金 ▲ 45億円
- ◆ その他 +25億円

【財務CF】 ▲ 30億円

- ◆ 資金調達 270億円
- ◆ 配当金 ▲ 45億円
- ◆ 自己株式取得・消却 ▲ 248億円
- ◆ その他 ▲ 6億円

(単位：億円)

【営業外損益】	2023年度 Q3累計	2024年度 Q3累計	YoY 増減
受取利息・配当金	26	24	▲2
為替差損益	21	13	▲8
助成金	0	4	+4
支払利息	▲0	▲1	▲1
投資事業組合運用損	▲3	▲1	+3
休止資産固定費	▲6	▲3	+2
寄付金	▲0	▲3	▲3
貸倒引当金繰入額	0	▲5	▲5
その他	1	4	+3
営業外損益合計	39	32	▲7

【特別損益】	2023年度 Q3累計	2024年度 Q3累計	YoY 増減
投資有価証券売却損益	110	54	▲57
出資金評価損	▲2	▲2	-
固定資産処分損	▲5	▲6	▲1
投資有価証券評価損	▲0	▲9	▲9
減損損失	▲16	▲39	▲23
その他	▲0	▲0	-
特別損益合計	88	▲3	▲91

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.9	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.13	高機能材料 営業利益差異
P.15	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.16	高機能樹脂事業：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.19	エラストマー素材 P/L
P.20	エラストマー素材 営業利益差異
P.22	エラストマー素材：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要
P.25	C/F概要
P.26	営業外損益、特別損益
P.28	2024年度 業績予想
P.30	2024年度 株主還元予想

(単位：億円)

【売上高】	年間予想 (10/28時点)	修正年間予想 (1/31時点)	年間業績予想 差異
高機能材料	1,155	1,195	+40
エラストマー素材	2,380	2,360	▲ 20
その他の事業、消去等	615	615	+0
売上高合計	4,150	4,170	+20

【営業利益】	年間予想 (10/28時点)	修正年間予想 (1/31時点)	年間業績予想 差異
高機能材料	140	165	+25
エラストマー素材	90	95	+5
その他の事業、消去等	5	5	-
営業利益合計	235	265	+30

■ 業績予想を売上高4,170億円、営業利益265億円に上方修正
 下期予想前提：US\$=150円、€=155円、国産ナフサ=¥72,000、アジアブタジエン=US\$1,200

P.2	総括
P.4	トピックス
P.7	事業環境（為替・主原料推移）
P.9	業績サマリー
P.12	高機能材料 P/L
P.13	高機能材料 営業利益差異
P.15	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.16	高機能樹脂事業：COPの状況
P.17	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.19	エラストマー素材 P/L
P.20	エラストマー素材 営業利益差異
P.22	エラストマー素材：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要
P.25	C/F概要
P.26	営業外損益、特別損益
P.28	2024年度 業績予想
P.30	2024年度 株主還元予想

株主還元方針

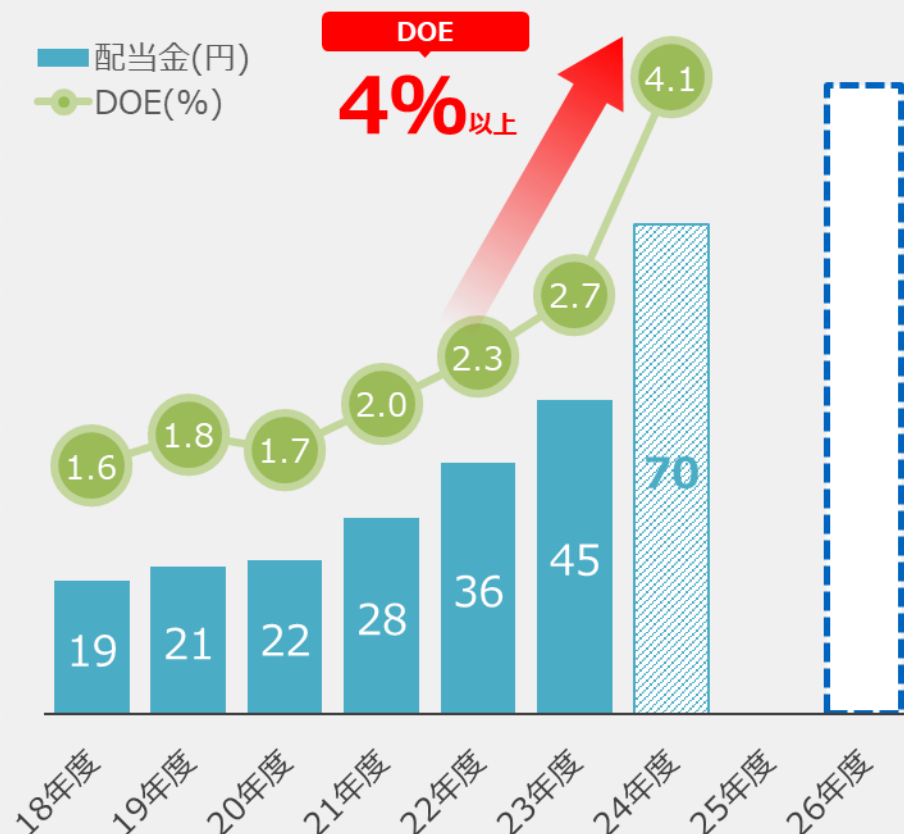
- 1 配当のKPIとしてDOEを採用し、
DOE4%以上とする

- 2 自己株式取得（計画）

24年度－26年度

400億円

- 24年度 200億円
- 25-26年度 200億円



- 2024年度の配当金は年間70円を据え置く（対前年度+25円）
- 年間配当額は2010年度から15期連続増配予想

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

2024年度 本決算発表	2025年4月25日を予定
-------------------------	----------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

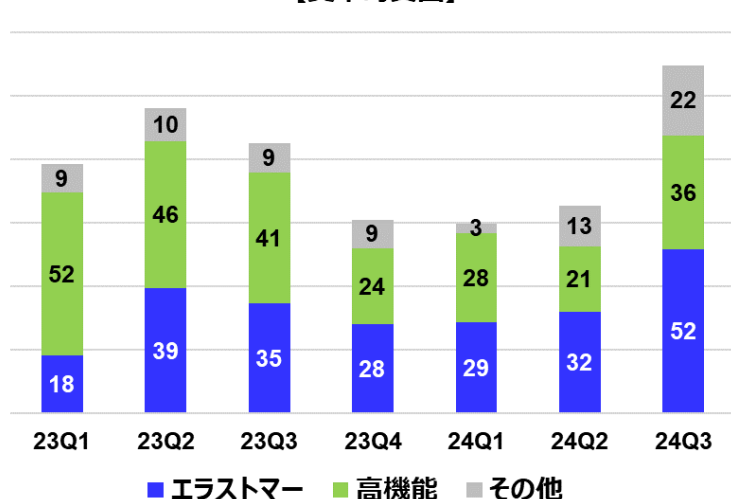
以 上

統合報告書
2024年度版を発行
しました
[こちら](#)

参考：資本的支出、減価償却費の推移

(単位：億円)

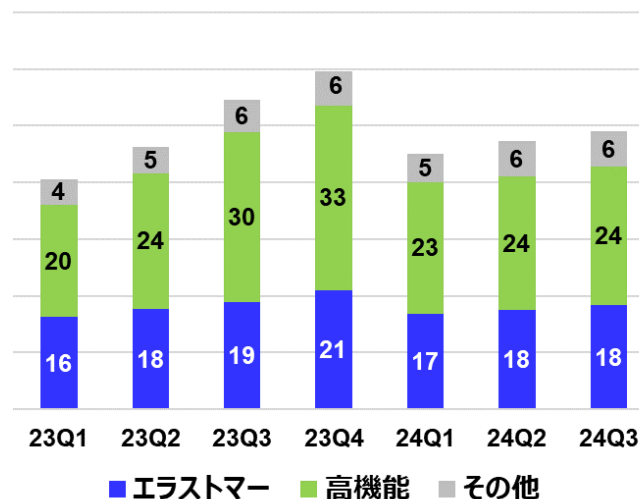
【資本的支出】



23年度実績
322億円

24年度予想
330億円

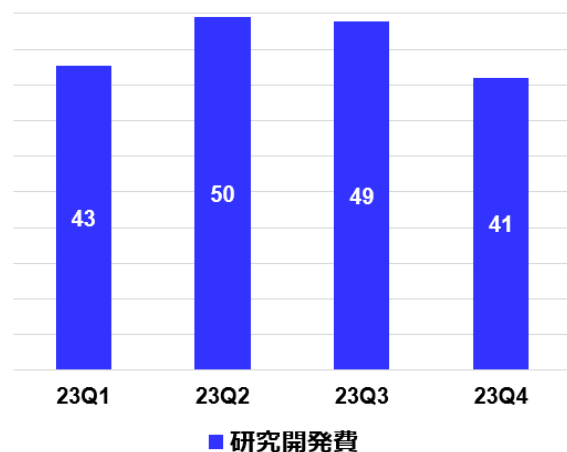
【減価償却費】



23年度実績
202億円

24年度予想
200億円

【研究開発費】

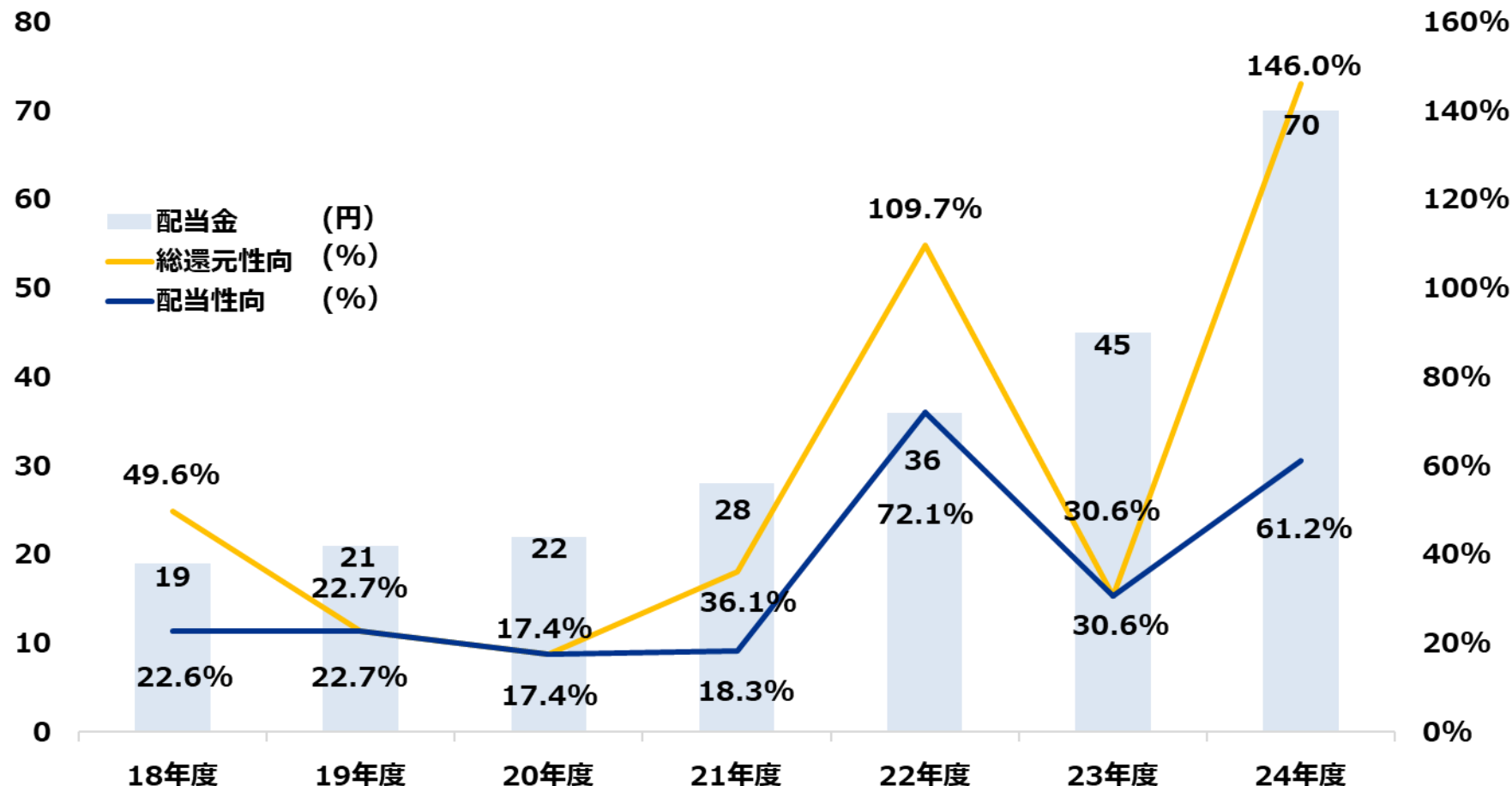


23年度実績
182億円

24年度予想
188億円

(単位：円)

(単位：%)



■ 配当利回りは4.85%（2025年1月30日終値ベース）

アップサイド

エンドマーケット需要回復の早期化

為替の円安化

市況回復の早期化

円安ドル高

景気回復

円安ユーロ高

ダウンサイド

エンドマーケット需要低迷の長期化

為替の円高化

市況回復の長期化

円高ドル安

景気悪化

円高ユーロ安